

校歌



校歌

相馬 御風 作詞
宮原 禎次 作曲

一、太平山の凜たる勇姿

清河旭川の淀まぬ心

勤労の精 質実の徳

金砂健児の指さす所

希望の光 世界を輝らす

二、物皆凍る寒風おろし

身を焼く炎暑何かはあらん

剛健の意気 不断の努力

金砂健児の勢力見よと

黒煙日毎 天へと沖す

三、進みて止まぬ科学の力

我が身に体し工業界の

未来の使命 肩にぞ担ふ

金砂健児が御国に誓ふ

忠誠これぞ 不滅の生命



旧校舎



前校舎



現校舎

たいへいさんの りんたる ゆうし せいがあ
 さひの よどまぬ ころろ ぎんろうのせい
 しつじつのとく かなさーけんじの ゆびさす
 ところ きぼうの ひかり せかいを てらす

●秋工の校歌制定は、1926(大正15)年。